

車載ホーンへの配線方法(選択)

警報音及び警戒ON/OFF時の確認音を車載ホーンにて出力する場合は、下記の配線を行ってください。
付属のサイレンをお使いの場合は、下記の配線を行う必要はありません。

配線をする前に

- 下記のような条件の車では、ホーン警報機能が使用出来ません。この場合は、付属のサイレンをご使用ください。
 - ・エンジンキーを抜いた状態でステアリングのホーンスイッチを押した時、ホーンが鳴らない車。
 - ・ON時間が0.25秒以下では鳴らないホーンを付けている車。
- 車載ホーンへ接続する際には、別途ホーンリレーが必要です。
(ミツバ製リレーRC-2217及びヒュースを別途お買い求めください。)



注意 リレーを使用しない場合、製品の故障の原因になります。

1 車載ホーンのスイッチ方式を確認する。下記を参考に車載ホーンの「スイッチ方式」を確認してください。

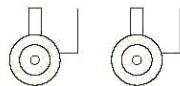
■プラススイッチ方式

(A) 車のホーン1ヶに対し、端子が1つある場合

●ホーンが1つの場合



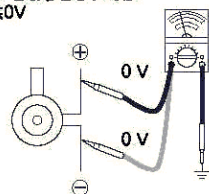
●ホーンが2つの場合



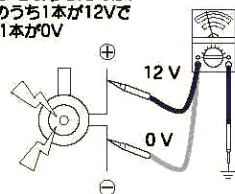
(B) 車のホーン1ヶに対し、端子が2つある場合

ホーンへ接続してある線が下記のような特性を示すことをテスターで確認してください。この時、テスターは電圧計測モード [V] にして計測してください。

●ホーンを鳴らさない時は



●ホーンを鳴らした時は、
2本のうち1本が12Vで
もう1本が0V



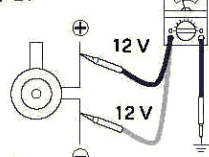
注意 ホーンが2つある車の場合、どちらか1つで上記の確認をしてください。

■マイナススイッチ方式

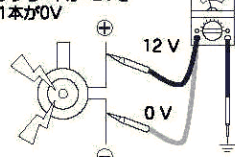
(C) 車のホーン1ヶに対し、端子が2つある場合

ホーンへ接続してある線が下記のような特性を示すことをテスターで確認してください。この時、テスターは電圧計測モード [V] にして計測してください。

●ホーンを鳴らさない時は
2本共12V



●ホーンを鳴らした時は、
2本のうち1本が12Vで
もう1本が0V



注意 ホーンが2つある車の場合、どちらか1つで上記の確認をしてください。

2

ホーンのスイッチ方式に従って配線をします。

ホーンが2つある車の場合、どちらか1ヶのホーンのみに配線してください。



警告

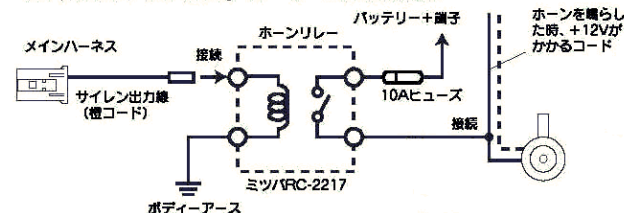
各接続箇所は接触不良のないよう注意してください。動作不良の原因となります。また、接続部は必ず絶縁処理を行ってください。接続部がショートすると、製品や車の故障、さらには車両火災の原因となります。



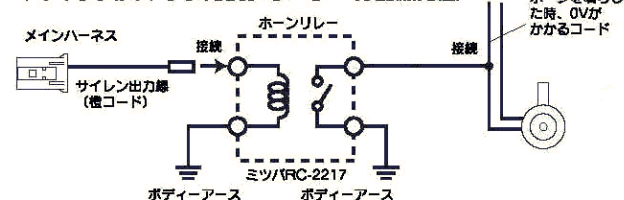
注意

配線する際は、別途リレーが必要となります。
(ミツバ製リレーRC-2217及びヒュースを別途お買い求めください。)

(I) 「プラススイッチ方式」ホーンへの配線方法



(II) 「マイナススイッチ方式」ホーンへの配線方法



3

本体のディップスイッチ(CH1)を「ON」(車載ホーン)にします。

ディップスイッチCH1をONにすることで、警報出力がホーン出力モードになります。ディップスイッチの設定方法については、24ページ「ディップスイッチの機能と設定方法について」をご覧ください。



注意

車載ホーンへの配線を行った場合は、必ずディップスイッチCH1をONにしてください。ディップスイッチCH1をOFF(サイレン警報モード)の状態では、ホーン警報を行うと、車載ホーンが故障する恐れがあります。

4

配線を固定します。配線したリード線をビニールテープや結束バンド等で確実に固定してください。



警告

・配線類は、車両の機構部分(ファン・ベルト類等)に触れないように固定してください。配線が他の装置等に接触したり、絡まったり、車体に噛み込まれたりして、断線やショートの原因となり、製品や車の故障、さらには車両火災を起こす可能性があります。
・配線類は、車両の高温になる場所(エンジン・ラジエーター等)の近くに固定しないでください。断線や車両火災の原因になります。